

こころ旅館

Cocoro Ryokan
(島根県隠岐の島町)



隠岐の島に観光客が押し寄せている。仕事柄隠岐の島へ行くことがあるが、観光客の多さゆえに、ホテルの予約が取りにくく、出雲からと伊丹からの合計 1 日 2 便しかない飛行機もほぼ満席だ。では、隠岐の島には何があるのか。恐らく、観光客の目当ては「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」であろう。その特徴は「大地の成り立ちに由来する特異な地質を持ち、地形の移り変わりを経て形成された離島。その大地の上に成り立っている暮らしや景観、自然があり、離島だからこそ、それらのつながりが見やすい」ことなのだそうである。確かに、写真を見ていると、ダイナミックな海岸の地形、奇形な岩、巨木がある。加えて、カニ、ワカメ、海苔などの海産物も豊富だ。また、島内には 100 か所もの神社があるという。隠岐の島町の人口が 1.4 万人なので、人口当たりになると相当な数である。

ちなみに隠岐以外で日本にあるユネスコ世界ジオパークは、洞爺湖有珠山、アポイ岳(北海道)、糸魚川、山陰海岸、室戸、島原半島、阿蘇がある。つまり、隠岐は日本に 8 か所しかないユネスコ世界ジオパークの一つなのである。

残念ながら、隠岐はジオパークであるにもかかわらず、当銭湯愛好会が取材したい温泉、銭湯はほとんどない。唯一ある温泉「隠岐温泉 GOKA」は、すでに取材して愛好会のホームページで紹介済みだ。今回紹介するのは、こころ旅館の風呂である。

こころ旅館は、フェリーが発着する西郷港から徒歩 5 分ほどの静かな場所にある。外観は 4 階建てであるが、3 階と 4 階はオーナーの住宅なのか、ホテルとしては 1 階と 2 階だけで構成されている。

入口は少し変わっている。通りに面しておらず、しかも扉は引き戸。押しても引いても開かないので、最初は途方に暮れてしまった。最近リノベーションを行ったのか、内装は恐ろしくきれいである。客室は 2 階にある 7 室のみで、すべて和室でしかもすべて禁煙室。トイレと洗面所は共用。風呂は 1 階にあり、男女別になっている。

風呂はチェックインから 24:00 まで使用可能となっている。脱衣室にはロッカーはない。貴重品や客室の鍵はフロントに預けるのがよいであろう。浴室には洗い場が 2 か所と浴槽があるのみ。必要最低限の設備である。内装は落ち着いた雰囲気のパネルと石貼。照明は少し暗め。奥には坪庭が見える。洗い場にはリンスインシャンプー、ボディークリーム、固形石鹸が完備。浴槽の定員は 2 人くらいだが、1 人でぜいたくに使いたいところ。空いている時間帯を狙おう。

朝食は珍しく部屋まで運んでくれるスタイルである。尚、取材班は朝食しか食べていないが、予約しておけば夕食として魚介類を中心にした和食会席のコース料理を食することが可能だ。

本土にいとあまり意識しないが、竹島は隠岐の島町の一部である。島民から見れば、特に隠岐の島町の役場の職員から見れば、竹島は韓国に不法に占拠されていることになる。しかし、さすがに竹島はジオパークには含まれていないようだ。いつか隠岐から竹島へも自由に行き来できる日が来るとよいのだが。

DATA

名称	こころ旅館
所在地	島根県隠岐郡隠岐の島町東町宇屋の下 16-2
電話	08512-2-2135
営業時間	16:00~24:00、6:00~8:00 (朝はシャワーのみ)
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020 年 2 月某日
取材	銭湯愛好会東京支部